

岡田太郎 （たろう） 民族學者。明治二十六年廣島縣甲奴郡上下町生れ、昭和十六年四月歿（一九三二—四一）。筆名赤坂新（一）。立教大學文學部史學科卒。在學中、小林秀雄教授の下もと立大史學會が設けられ、機關誌「史苑」の編輯實務に従事。のち文學部教授となり、新設の民族學講座を擔當。病を獲て昭和八年以後療養生活。

遺稿集「民族學論攷」（立教大學史學會編、昭和二十一年八月五百六十
洋出版株式會社「史苑叢書」）。

